

映画『それでもボクはやってない』『Shall we ダンス?』の周防監督と  
足利事件冤罪被害者の菅家さんが来場!

取調べの全面可視化を考えるシンポジウム

参加無料  
事前申込不要

# こうして彼は 「犯人」にされた



周防監督  
来場!!

無実の人が処罰される冤罪事件は、後を絶ちません。その最大の原因は、取調べが密室で行われるため、強引な取調べに耐えきれずやってもいないのに「やりました」と嘘の自白をしてしまったり、目撃者や共犯者の供述についても、誘導等によって、捜査機関側のストーリーに沿うように供述が作り上げられることにあります。そのような違法な取調べを防止する方法の一つが、取調べの全てを記録して第三者の目で見られるようにすること、すなわち「取調べの全面可視化」です。いつ自分の身にふりかかるかもしれない冤罪の危険。この機会に取調べの可視化について一緒に考えてみませんか。

2011年

とき

3月7日(月)

18:00~20:30

[開場17:30]

ところ

札幌市教育文化会館小ホール

札幌市中央区  
北1条西13丁目

地下鉄東西線「西11丁目駅」  
1番出口から徒歩5分



主催：札幌弁護士会

お問い合わせ | 札幌弁護士会

札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館7階

TEL. 011-281-2428

URL. <http://www.satsuben.or.jp/>





## 取調べの全面可視化って何？

警察・検察での取調べの状況を**全て**録画・録音することを「**取調べの全面可視化(かしか)**」といいます。



## 可視化なんて私には関係ない？

いいえ。あなたにも無関係ではありません。

これまでは、密室で警察官や検察官が暴力や脅しなどを使って強引な取調べを行い、それに耐えきれなくなって無実の人が嘘の自白をしてしまったり、目撃者や共犯者の供述についても、誘導等によって捜査機関側のストーリーに沿うように供述が作り上げられることによって、無実の人が処罰される「**冤罪(えんざい)事件**」が起きてきました。ですから、あなた自身は何も悪いことをしていなくても、**無実の罪**で警察に捕まることだってあります。



## 全面可視化されたらどうなるの？

まず、警察官や検察官は強引な取調べをしにくくなり、その結果、**冤罪事件を防止**できるという効果が期待できます。また、裁判において、強引な取調べが行われたかどうかが問題になった場合でも、取調べの状況が全て録画されていれば、裁判官や裁判員が**自分の目で見て判断**できるようになります。

### PROGRAM

#### 1. パネルディスカッション

周防 正行 監督 (映画『それでもボクはやってない』監督)  
菅家 利和さん (足利事件冤罪被害者)  
笹森 学 弁護士 (足利事件弁護人)

#### 2. 実際の取調べの録音テープを再生

実際に脅しを使って強引な取調べが行われている状況を録音したテープを再生し、お聴きいただく予定です。

など

### 足利事件とは

1990年に栃木県足利市で発生した幼女殺害事件で、菅家利和さんは、強引な取調べによって虚偽自白に追い込まれ、この虚偽自白などの証拠で無期懲役の判決を受け、2009年6月まで17年半もの間勾留、受刑を強いられていました。しかし、最新のDNA型鑑定の結果、無罪であることが明らかとなったとして2009年6月4日に釈放され、再審公判が開始され、2010年3月26日無罪判決が言い渡されました。

### 周防 正行 監督 プロフィール

1956年、東京都生まれ。1984年監督デビュー。代表作は『シコふんじゃった。』(1992年 日本アカデミー賞最優秀作品賞受賞)、『Shall we ダンス?』(1996年 第20回日本アカデミー賞13部門独占受賞)、痴漢冤罪事件を題材にした『それでもボクはやってない』(2007年)など。2011年4月16日『ダンシング・チャップリン』公開予定。